

全角約物の詰め処理

[axf:punctuation-trim](#) の指定により、日本語の全角約物（開きや閉じ括弧、"。"などの句読点）の詰め処理をするかどうかを指定します。axf:punctuation-trim に none を設定すると全角約物の詰めを処理しません。start の設定では行頭での全角約物を半角に扱い、end の設定では text-align="right" または text-align="justify" の指定があり、全角約物の位置が行末の場合に強制的に半角で扱います。axf:punctuation-trim で処理される文字列を指定して半角で扱わせることなどもできます。その他の設定はサンプル内にて説明します。

none

(あいうえ
お)

start

(あいうえお)

end

(あいうえお)

start-except-first

start と同じですが、先頭の行や強制改行直後の行を除きます。

(あいうえ
(お))

allow-end

全角約物が行末に位置した場合、行に収まるときは全角のままとし、収まらないときは半角に扱います。

(あいうえお
か) きくけこ)

end-except-fullstop

end と同じですが U+3002 (。) と U+FF0E (.) の 2 文字を除外します。

(あいうえお)
(か き く け
こ。

adjacent

全角開き括弧と全角閉じ括弧の間など、全角約物と全角文字の間の詰めを処理します。処理される組み合わせはオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

axf:punctuation-trim="none"

((あいう) ; かき) 、 けこ

axf:punctuation-trim="adjacent"

((あいう) ; かき) 、 けこ

all、<string>

all は、全角の括弧類、中点類、句読点類をすべて詰めて半角扱いにします。<string> は、指定した文字列に含まれる文字のみが半角扱いされます。指定可能な文字列は adjacent と同様にオンラインマニュアルの「[axf:punctuation-trim](#)」をご参照ください。

axf:punctuation-trim="none"

【あ（あ “あ：あ 〈・〉 あ、あ” あ） あ】

axf:punctuation-trim="all"

【あ（あ “あ：あ〈・〉あ、あ”あ）あ】

axf:punctuation-trim="〉 ,、 ,” ,) ,】 "

【あ（あ “あ：あ 〈・〉あ、あ”あ）あ】